

公益社団法人 日本技術士会中部本部 電気電子情報工学部会 2月例会のご案内

【主催】中部本部 電気電子情報工学部会

当部会では、定期的に例会（講演会、Web講演会、見学会）を実施しており、2月度の例会（講演会）を下記のように企画しましたのでご案内申し上げます。電気電子情報工学部会の会員に限らず、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

1. 日時：平成31年2月2日(土) 13:30~17:00（受付13:00より）

2. 場所：国立大学法人 名古屋工業大学 23号館 1階2312教室

大学キャンパスマップはこちら→ <https://www.nitech.ac.jp/access/campusmap.html>

JR東海 中央本線 鶴舞駅下車（名大病院口から東へ約400m）

地下鉄 鶴舞線 鶴舞駅下車（4番出口から東へ約500m）

桜通線 吹上駅下車（5番出口から西へ約900m）

市バス 栄18 名大病院下車（東へ約200m）

3. プログラム（講演の概要については2ページ目に記載）

13:00 - 13:30 受付

13:30 - 13:40 主催者開会挨拶

13:40 - 15:10 講演1：「量子情報技術とその利点」

国立大学法人名古屋大学大学院多元数理科学研究科教授 林 正人

15:10 - 15:25 (休憩)

15:25 - 16:55 講演2：「(仮称)北海道胆振地震によりなぜ電力網がブラックアウトに至ったか」

長谷部 和憲(技術士、電気電子部門)

16:55 - 17:05 連絡事項、主催者閉会の挨拶および講演会場の片付け

17:15 - 19:15 交流会 希望者のみ

4. 例会参加費用：日本技術士会会員 1,000円

中部エレクトロニクス振興会会員 1,000円

非会員 2,000円

学生 無料

5. 交流会

出席：希望者のみ

場所：名古屋工業大学 大学会館

会費：3,500円（予定）

6. 申込み先

申込みは下記のWebフォームからお願いいたします。（申込期限 1月23日(水)）

→<https://goo.gl/forms/no0NZp98FivevfFN2>

Webからの申込みができない場合、キャンセルする場合は、

部会講演会幹事(mailto:dib_uketsuke@googlegroups.com)まで、

氏名、部門、会員・非会員の区別、交流会申込の有無をご連絡下さい。

以上

講演概要

講演 1 : 量子情報技術とその利点

国立大学法人名古屋大学大学院多元推理研究科教授 林 正人

「量子情報科学」とは、ミクロな世界の基礎物理理論である「量子力学」に基づいて構成される情報科学であり、テレポーテーションや、絶対盗聴されない暗号、また超高速コンピュータなど、夢のような技術を実現する可能性を秘めている。現在、物理学、情報科学、数学などの分野を巻き込み発展している最先端の科学分野である。

本講演では、名古屋大学大学院多元数理研究科 林正人教授により量子情報技術の基礎概念と利点等について解説する。

講演 2 : (仮称) 北海道胆振地震によりなぜ電力網がブラックアウトに至ったか

長谷部 和憲 (技術士 電気電子部門)

2018年9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震に伴い、1951年に現在の電力体制成以降では我が国初となる大規模停電（ブラックアウト）が北海道で発生した。地震発生からブラックアウトに至るまでと、ブラックアウトから一定の供給力確保に至るまでの概要を解説する。また、発電、送電・変電、配電といった電力システムの概要と現在進められている電力システム改革の概要についても述べる。

本講演の内容について事前に質問を受け付けたいと思います。

ただし、Web情報等を参考に事前に学習いただき、その上で質問をお寄せください。

いただいた質問は講演の際に講師の先生に回答いただけるようにしたいと思います。

参加登録していただかなくても質問は可能ですが、回答が展開できるかは分かりません。

また、質問が多ければすべてに回答いただけないかもしれません。

その際にご容赦願います。

質問は下記のWebフォームからお願いいたします。

→<https://goo.gl/forms/f2qbCDwMsemi7i2w2>